

農業体験で、都市と農村、人と人をつなぐ

～365日フルーツが楽しめるまち 和歌山県JA紀の里～

J A 紀の里がある和歌山県紀の川市は、大阪市内から車で約1時間、関西国際空港より約40分の距離にあり、都市部から日帰りで訪れることが出来る交通アクセスに恵まれた地域である。古くから農業を基幹産業として栄えてきた地域であり、なかでも果樹栽培は周年を通じ多彩な品目群を抱え、早春からは梅・桃・梨・ぶどう・みかん・八朔・柿・キウイフルーツ等の花が順に咲きほこり、6月から翌春まで相次いで各々が収穫の時を迎える。まさに一年を通して日本の四季を感じ、伝えることができる地域である。

都市と農村の交流拠点「めっけもん広場」

平成12年、JA紀の里ファーマーズマーケット「めっけもん広場」を開設。年間約80万人の消費者が訪れる日本最大級の直売所に成長。その後、単なる農産物の販売だけでなく、「農産物の魅力・作り手の想い・地域農業の実態」などもあわせて届ける「都市と農村の交流拠点」と位置付け、一年を通じて楽しめる果物や地域の農産物を素材に、多彩なプログラムを取り揃えた体験交流事業を導入した。



多彩な体験プログラムの提供

「めっけもん広場」を拠点に展開する体験交流事業は、平成15年に「体験農業部会」を設立後、右肩上がりに交流実績を伸ばし、令和元年度には年間2,137人にまで拡大。様々な体験では、農家をその主役にする事で、農家としての誇りや郷土愛の醸成に繋がっているだけでなく、農業体験料収入による農家所得の向上に寄与している。また、体験プログラムの作成にあたっては、一般消費者・都市住民のニーズを捉えるだけでなく、様々な企業、団体、教育機関などと連携しながら、プログラムを検討し、実施している。それにより、一層効果的・広域的な取組になるだけでなく、それぞれが持つ広報力により、さらに活動が注目を浴び、異業種との新たな連携が生まれるなどの波及効果も感じられる。体験交流参加者に対しては「あぐりん♪クラブ」という会員登録制を設け、年間を通して様々な体験活動を案内して、リピーターの確保に繋げており、地域のファン・農業のファンづくりが出来ている。

世界に発信する「365日フルーツを楽しめるまち」

今後も引き続き、様々な企業・団体との連携をさらに深め、消費者のニーズに対応した都市農村交流事業の拡充に取り組む。さらに、都市住民・消費者のみならず、今後は訪日外国人旅行者の受入の拡充とともに、東南アジアを中心とした農産物輸出の拡大に注力する。

ファーマーズマーケット「めっけもん広場」は、都市と農村の交流拠点であり、さらに機能付加するべく、来春には隣接のいちご狩り園も開園する予定である。都市と農村、消費者と生産者の交流による地域の活性化は、地方農村部における新たなビジネスモデルに成り得る。



※記載内容は令和3年3月1日現在の情報です
このページに関するお問い合わせは

和歌山県農林水産部農業生産局果樹園芸課

〒640-8585 和歌山市小松原通り1-1 TEL:073-441-2903 FAX:073-441-2909

メール:e0703001@pref.wakayama.lg.jp